



俺の夏休みは

若女将とバイト生活!?

ギャルの

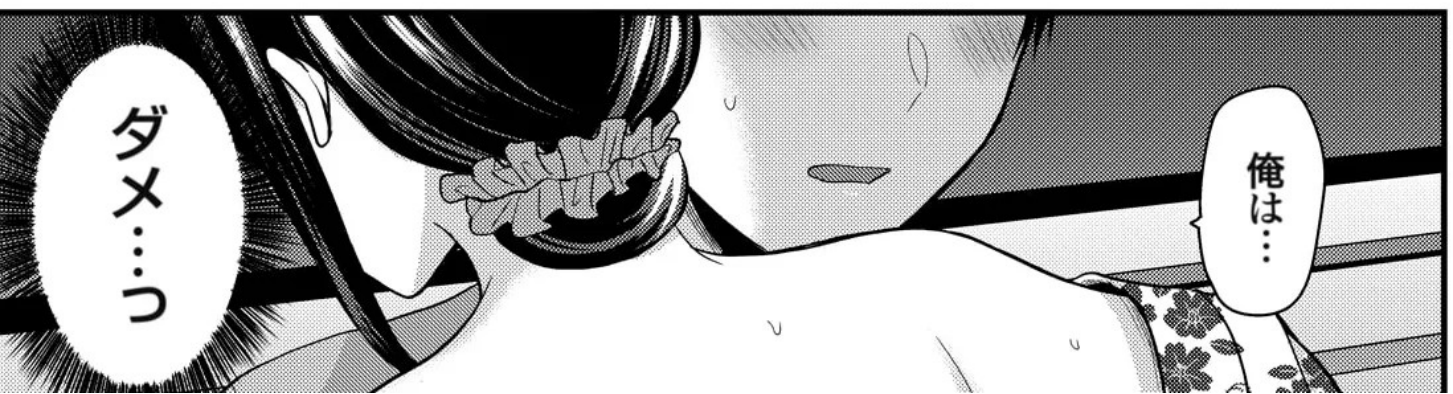
16

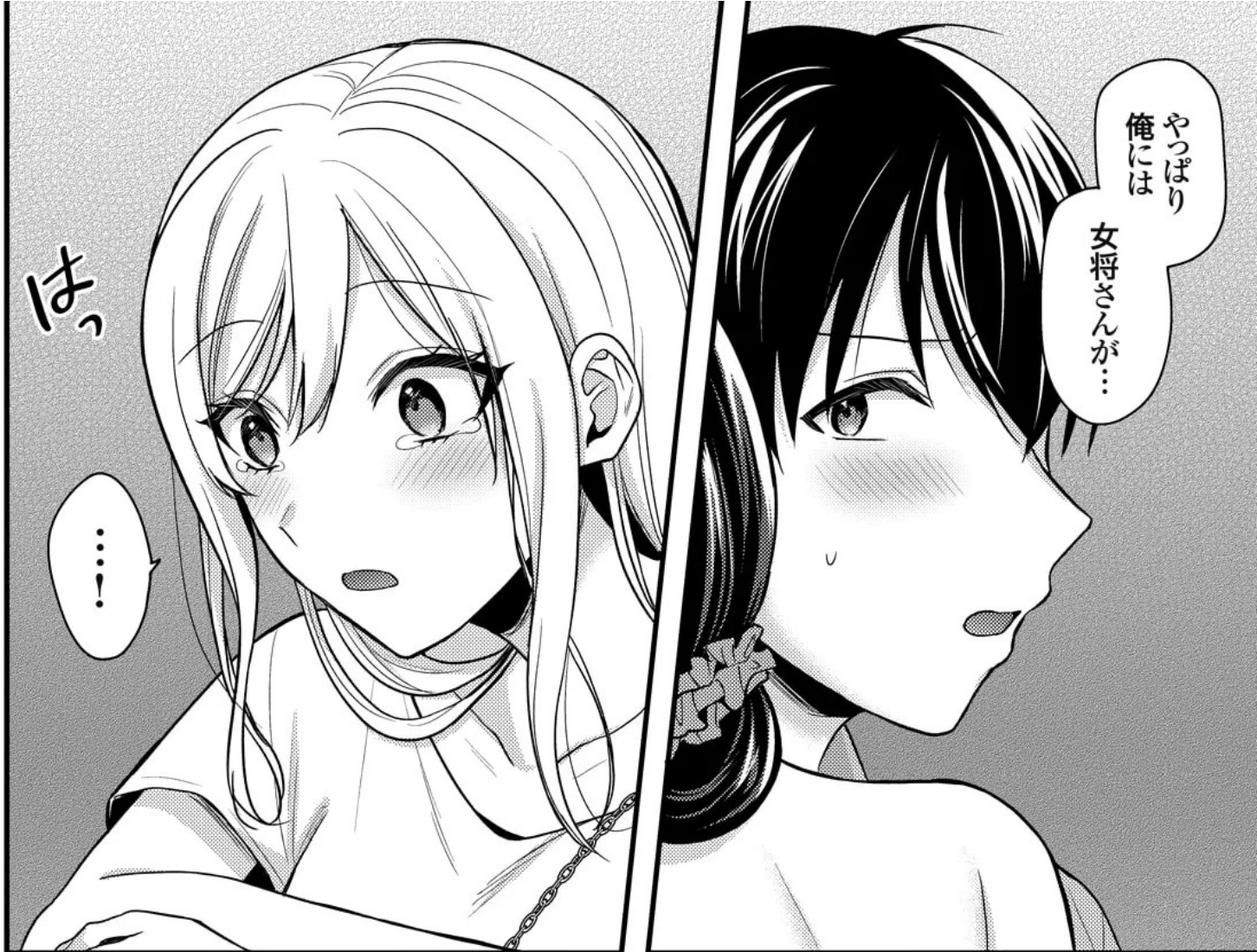
Ore no Natuyasumi ha Gal no Wakaokami to Baito Seikatsu !?

ぺい

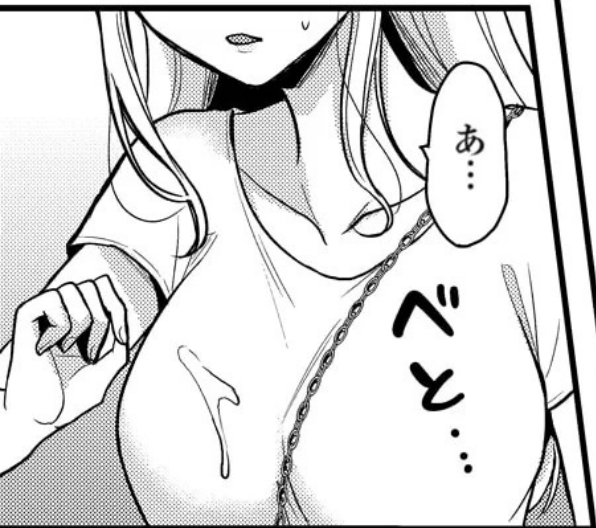












ゆ…
雪音こそ…!

西倉くんに変なこと
しないでって言ったのに
どういふこと!!

どういふつもりも
何も自然の流れで
こうなっただけやよ?

嫌なら
取り返して
みたら?

かし

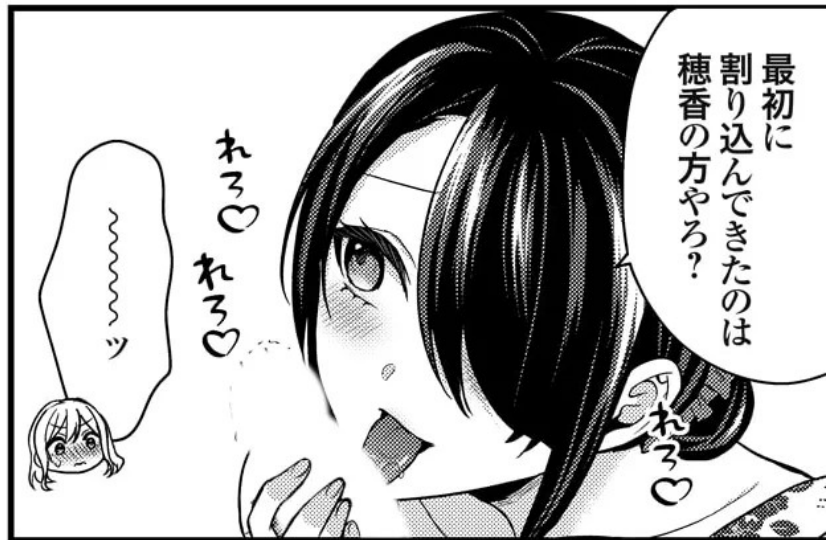
お…
女将さん!?

……っ

















…う

ひゅん



あ…

ひゅん
ひゅん



ひゅん
ひゅん
ひゅん

ひゅん

ひゅん

挿れて…？



ひゅん
ひゅん





雪音
何して…



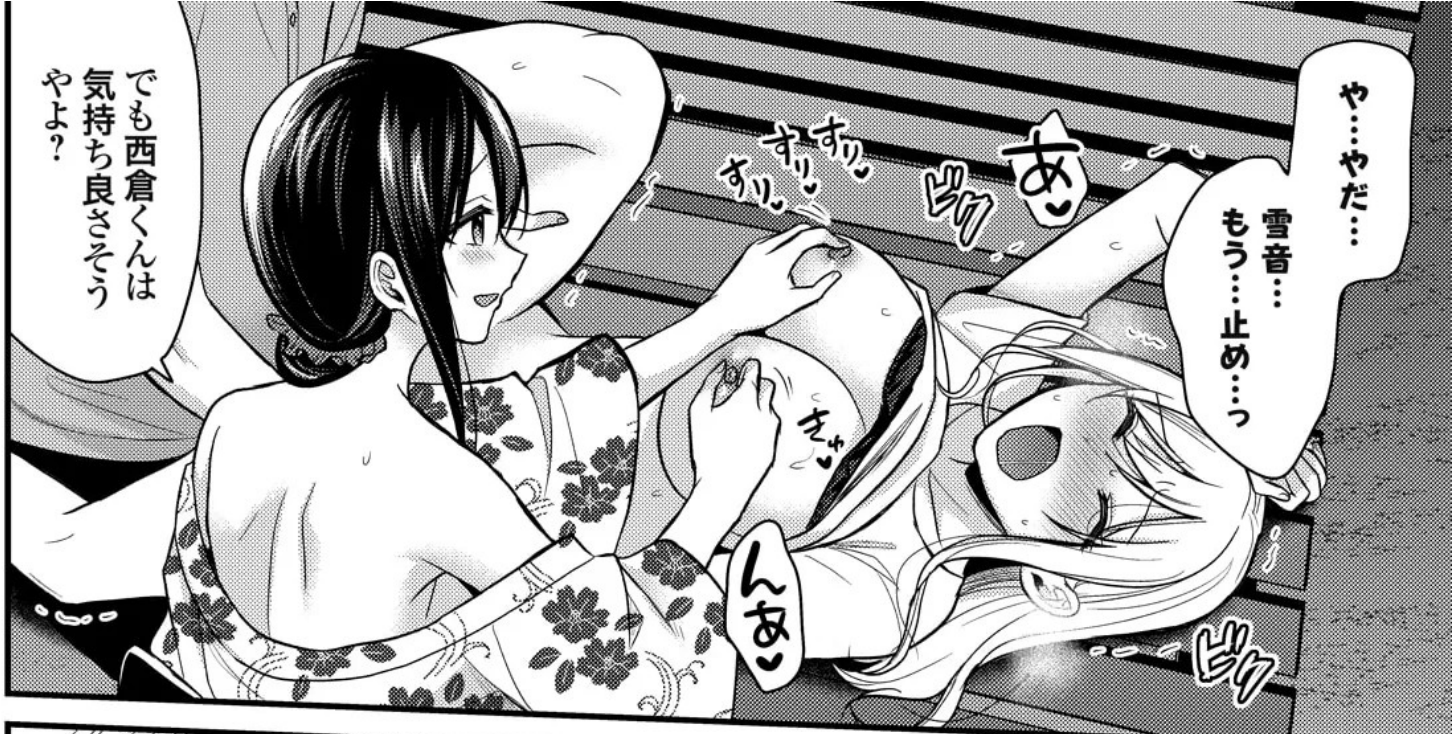
私の分まで
西倉くんのこと
気持ち良くしなきゃ
ダメだよ？

ひゅっ!?



…ッ!

締め付けが
強くなった…っ







この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を
無断転載・複写・複製・配信
送信（ホームページ上への転載を含む）
アップロード・デジタル化することを禁止します。
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを
行うことも禁止します。

for**cs**



俺の夏休みは

ガルの

若女将

とバイト
性生活!?

17

Ore no Natuyasumi ha Gal no
Wakaokami to Baito Seikata!?

ぺい

花火大会から
数日後……

短い間でしたが
お世話に
なりました

まっ
バイト期間が
終わっても

別にここに来ちゃ
いけないって
わけでもないし

また遊びに
来るわ

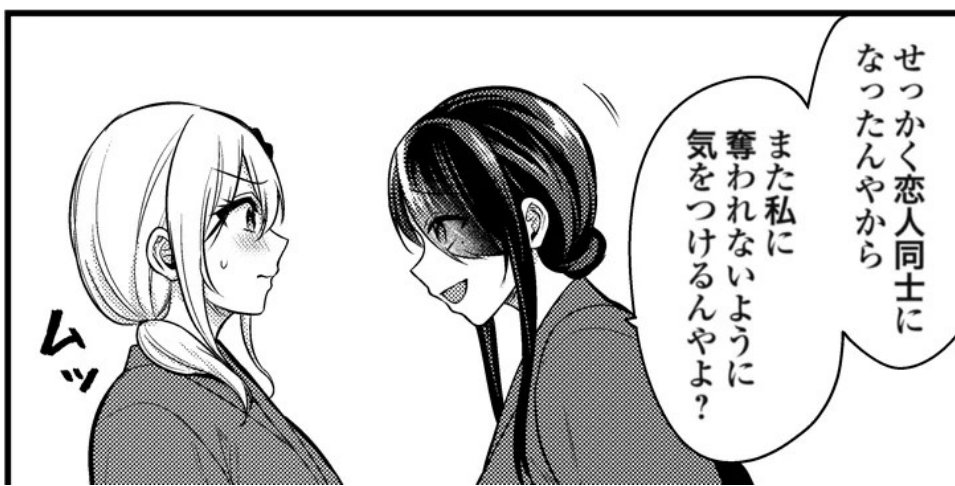
あんたには
振り回されっぱなし
だったけど

一応旅館の仕事は
ちゃんとしてくれてたし
ママの代わりに伝えるわ

手伝ってくれて
ありがと……

……雪音
ゆきね

またいつでも
来てね

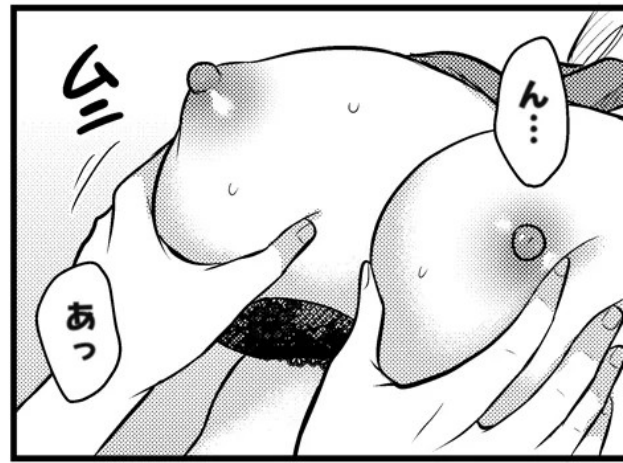
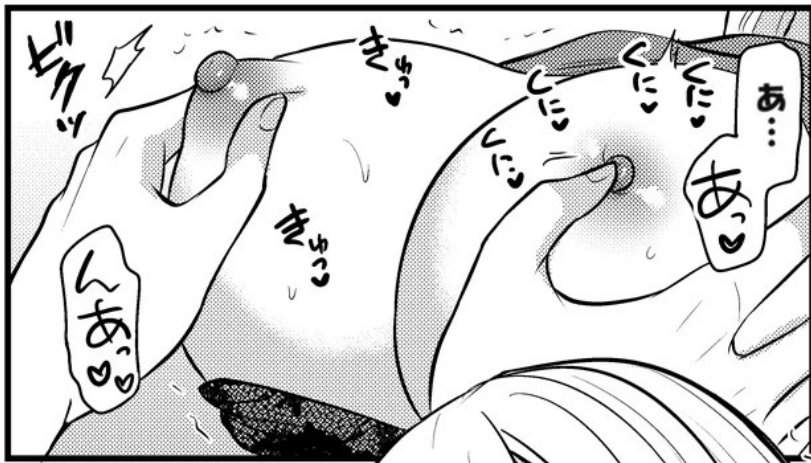


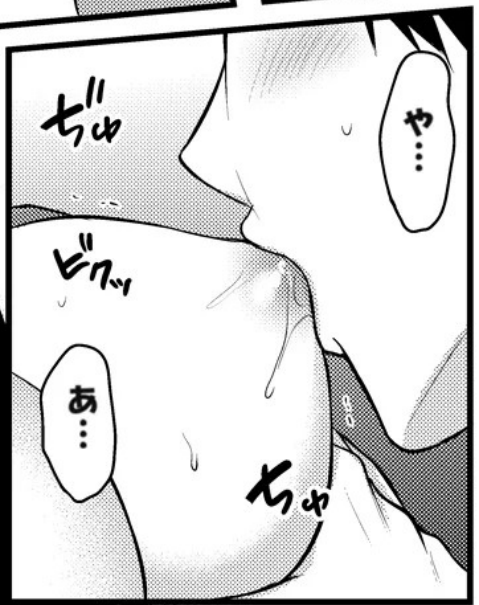






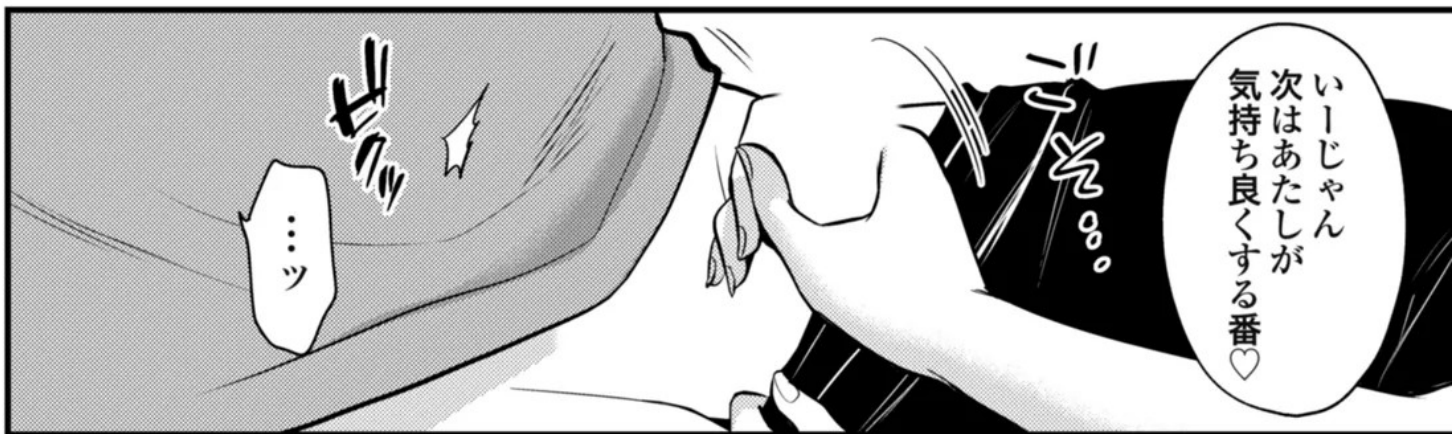


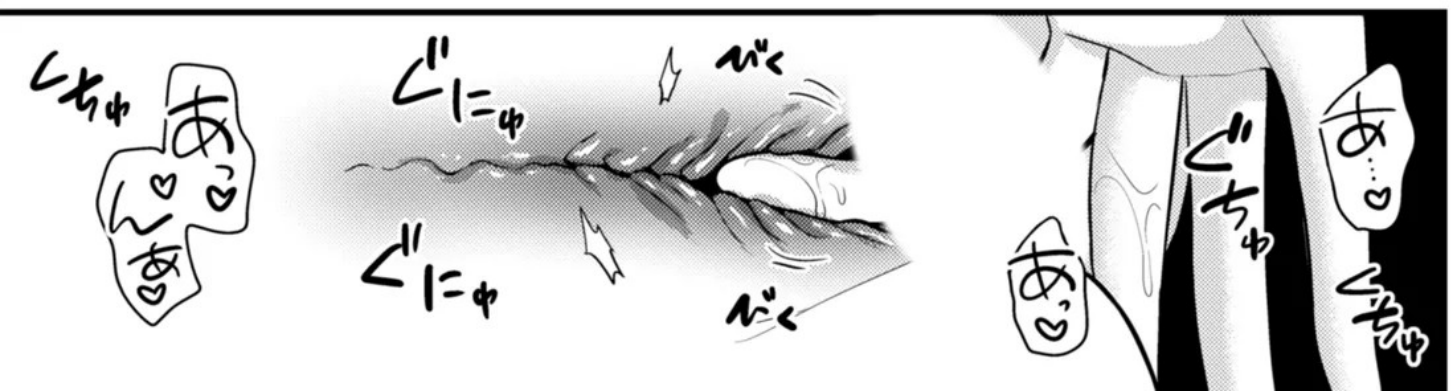
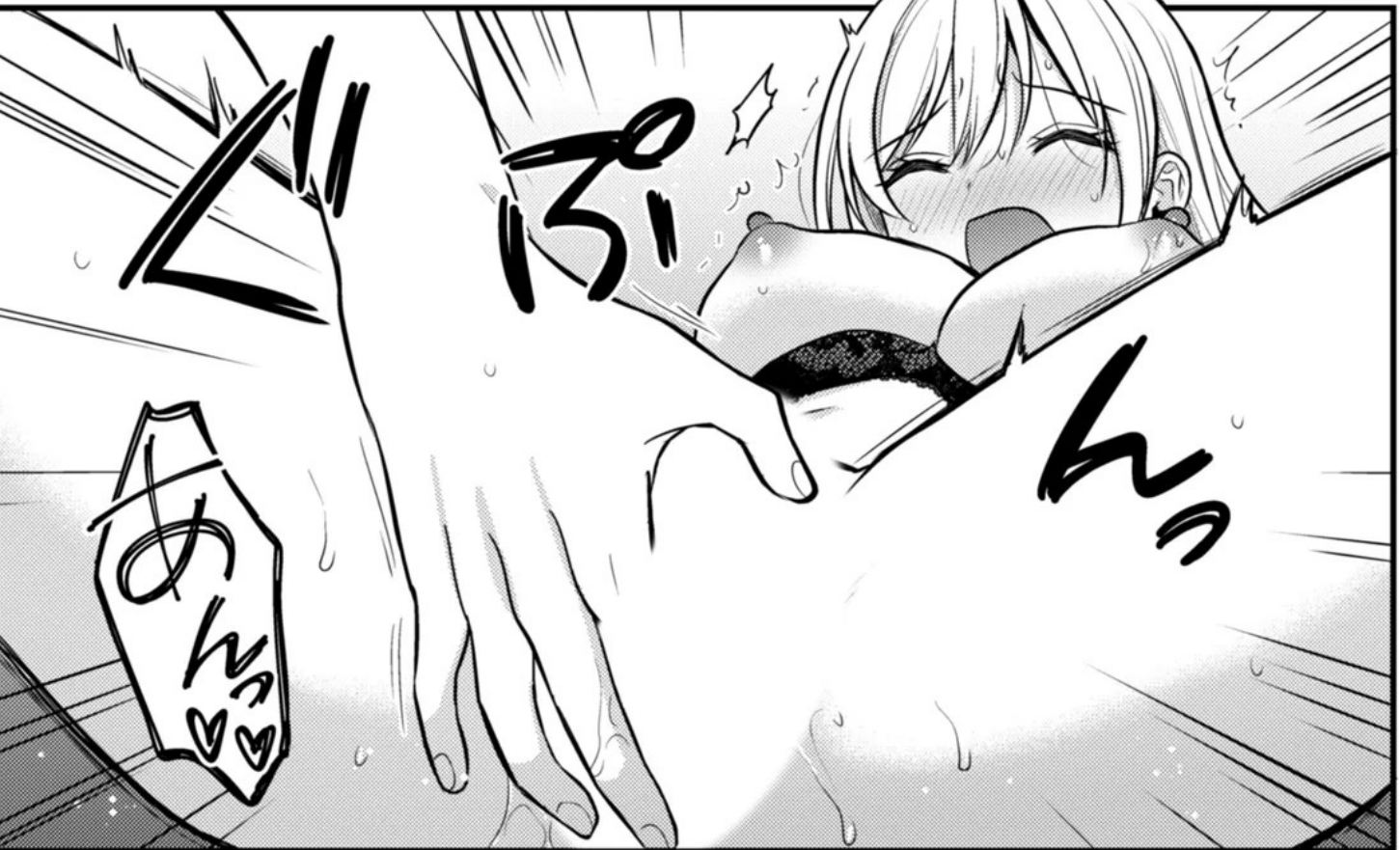


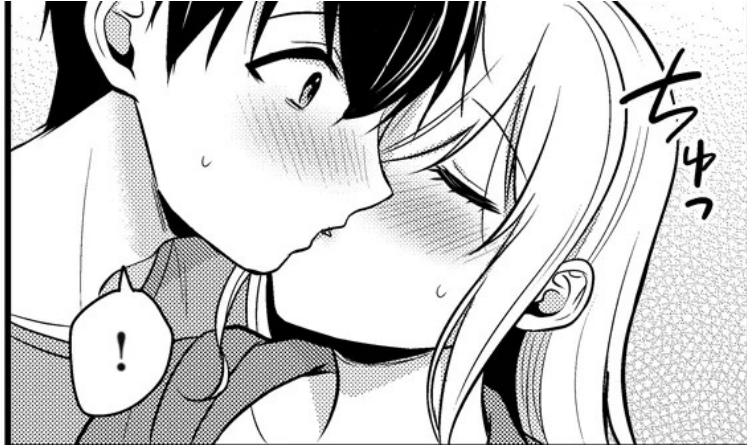


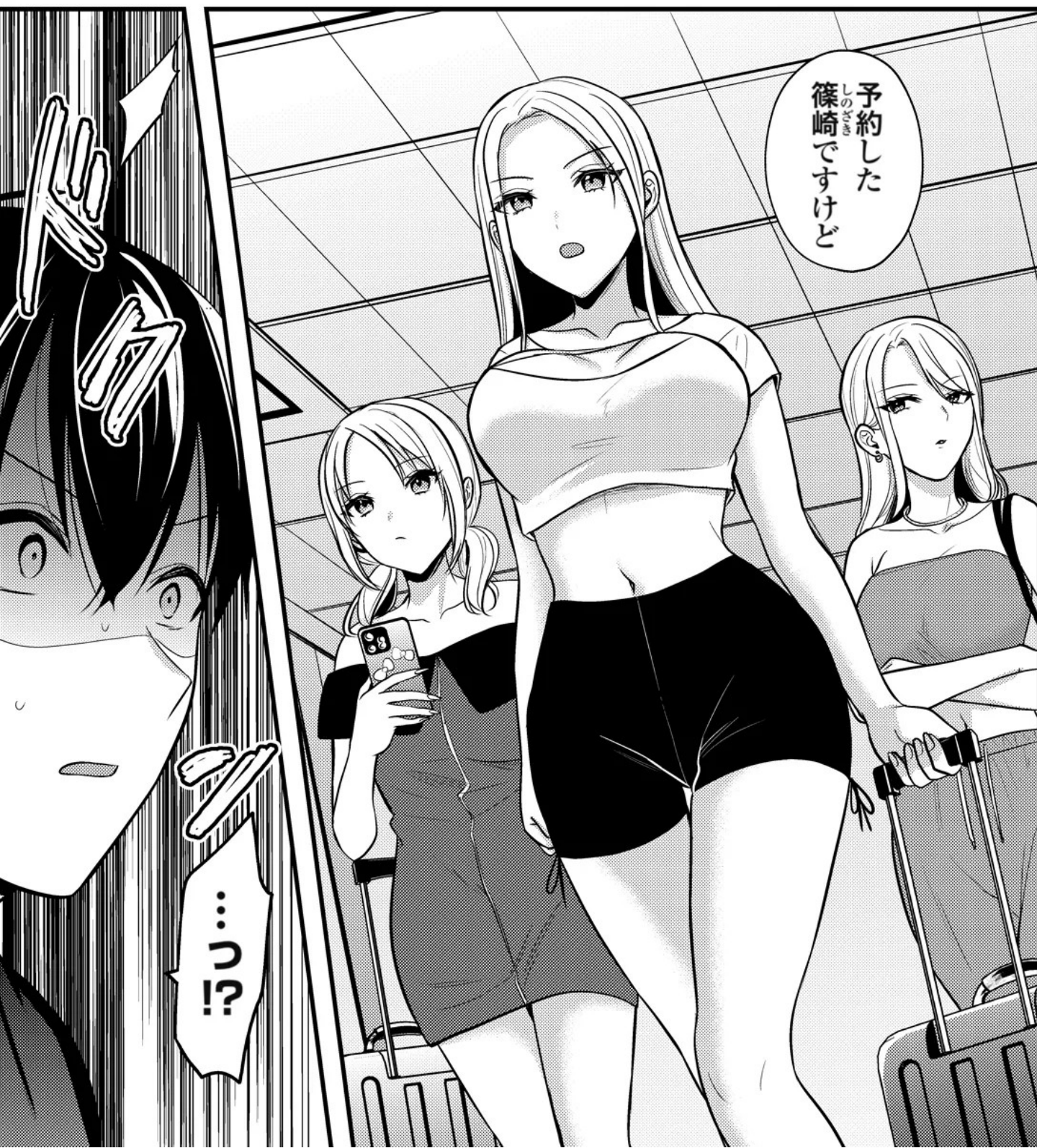


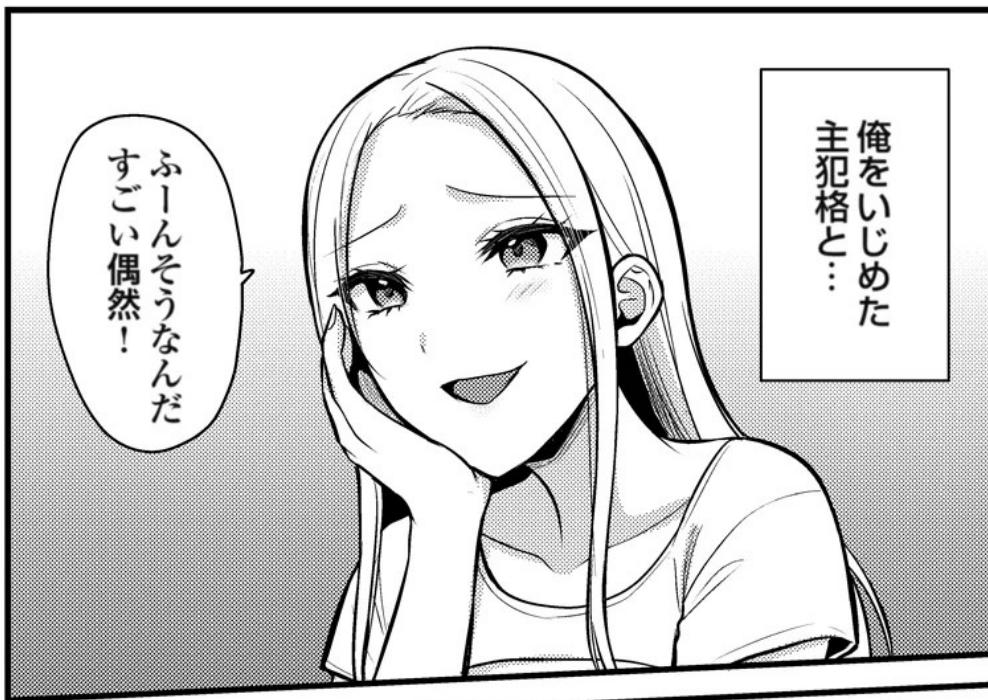
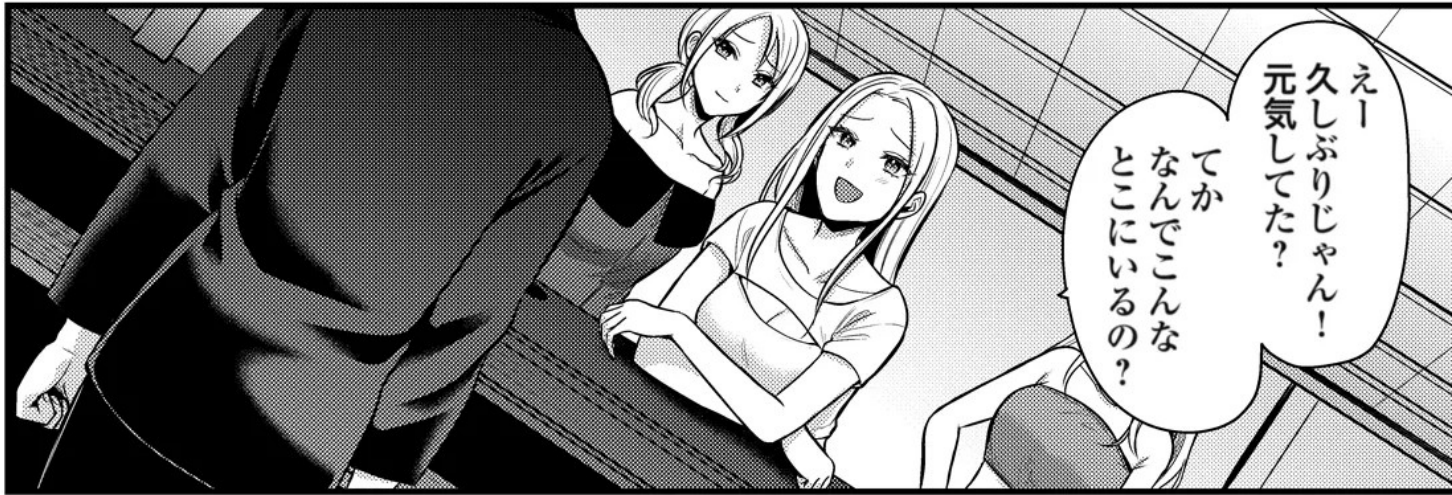
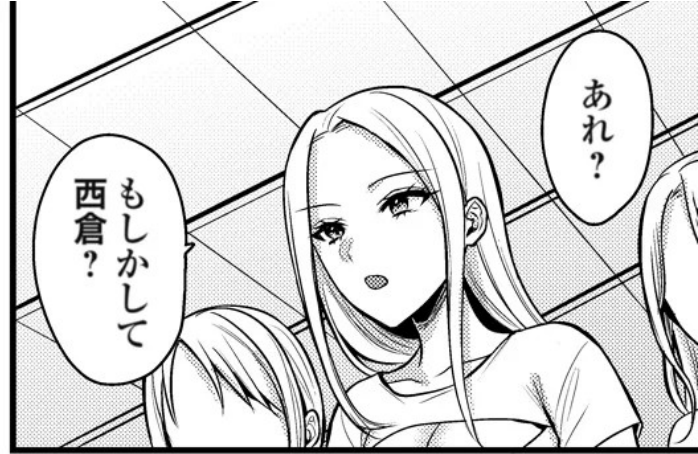




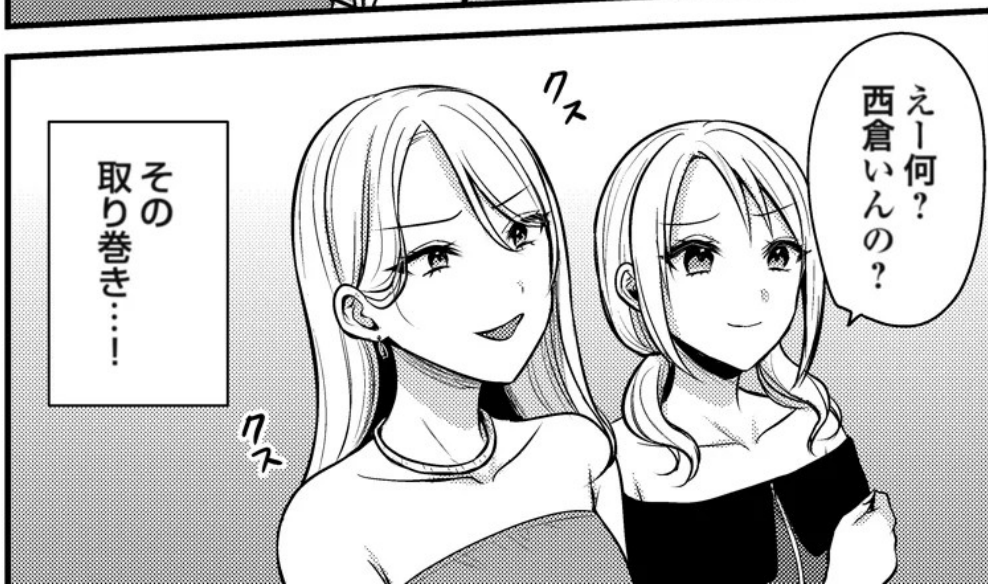








俺をいじめた
主犯格と…



その
取り巻き…!

こいつらは…





動悸と
気持ち悪さが
治まらない…



女将さんが
来てくれて
良かった…
でもまさか
あいつらが
泊まりに
来るなんて…



でもここで
逃げたら
ダメな気がする



せっかく女将さんが
俺のためにトラウマを
克服させてくれたんだ

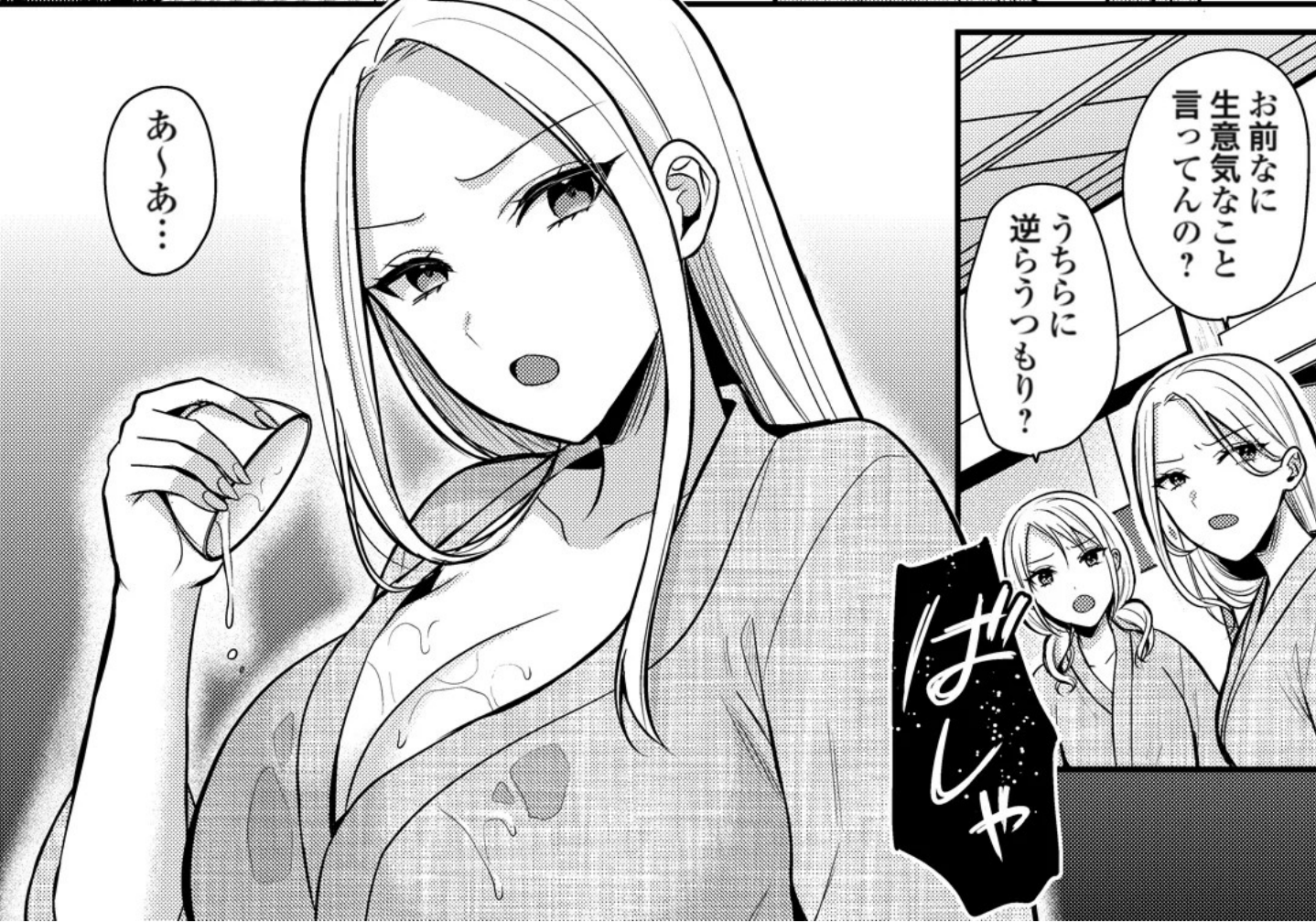
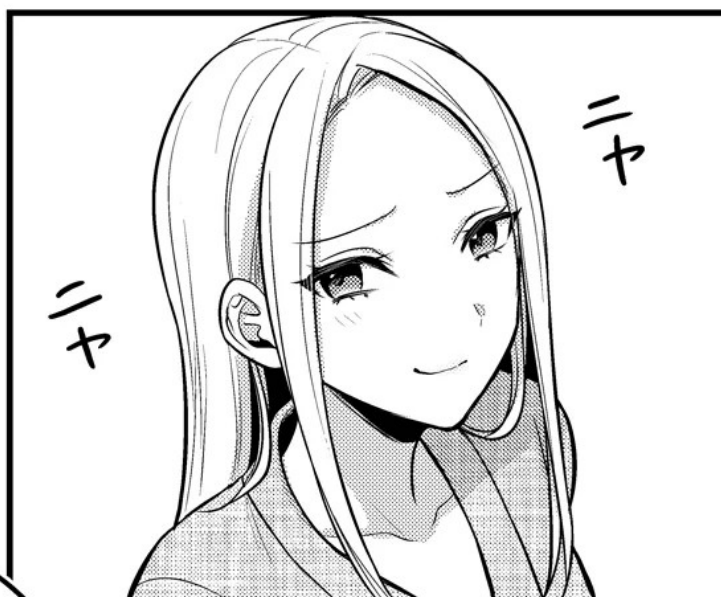
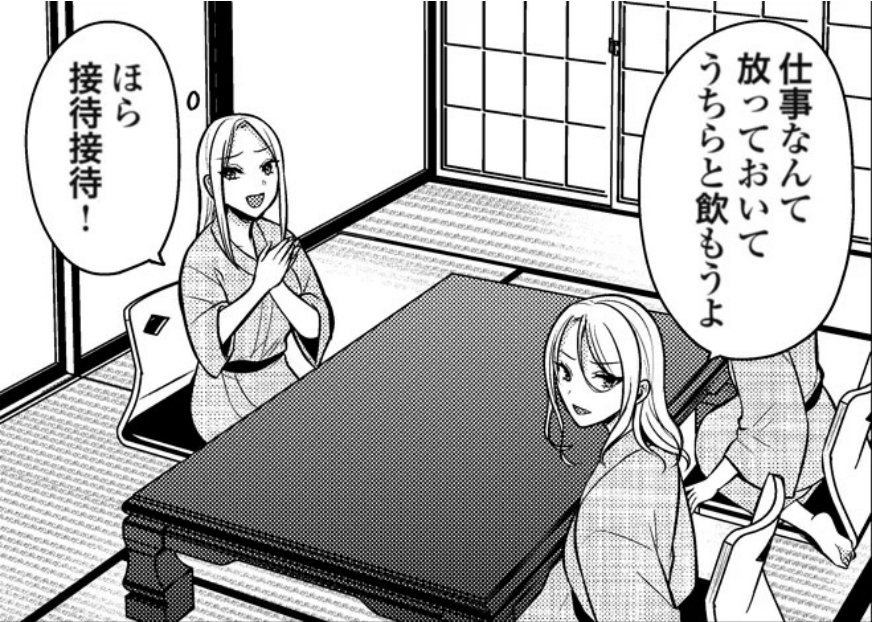


俺はあの時とは
違うんだ!!

—失礼します



…よしっ







拭き終わったら
俺は仕事に
戻るからな…

はあ？

イラ…

何それ
この状況で何も
しないってわけ!!

ニヤ…

…そうだ

あんたが
興奮してるか
確かめてあげる♡

ムギョム

!?

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を
無断転載・複写・複製・配信
送信（ホームページ上への転載を含む）
アップロード・デジタル化することを禁止します。
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを
行うことも禁止します。

forces



俺の夏休みは

若女將とバイト生活!?

ギャルの

18

Ore no Natuyasumi ha Gal no Wakaokami to Baito Seikata !?

ぺい



あんたが
興奮してるか
確かめてあげる

!?

ギョッ

ギョッ



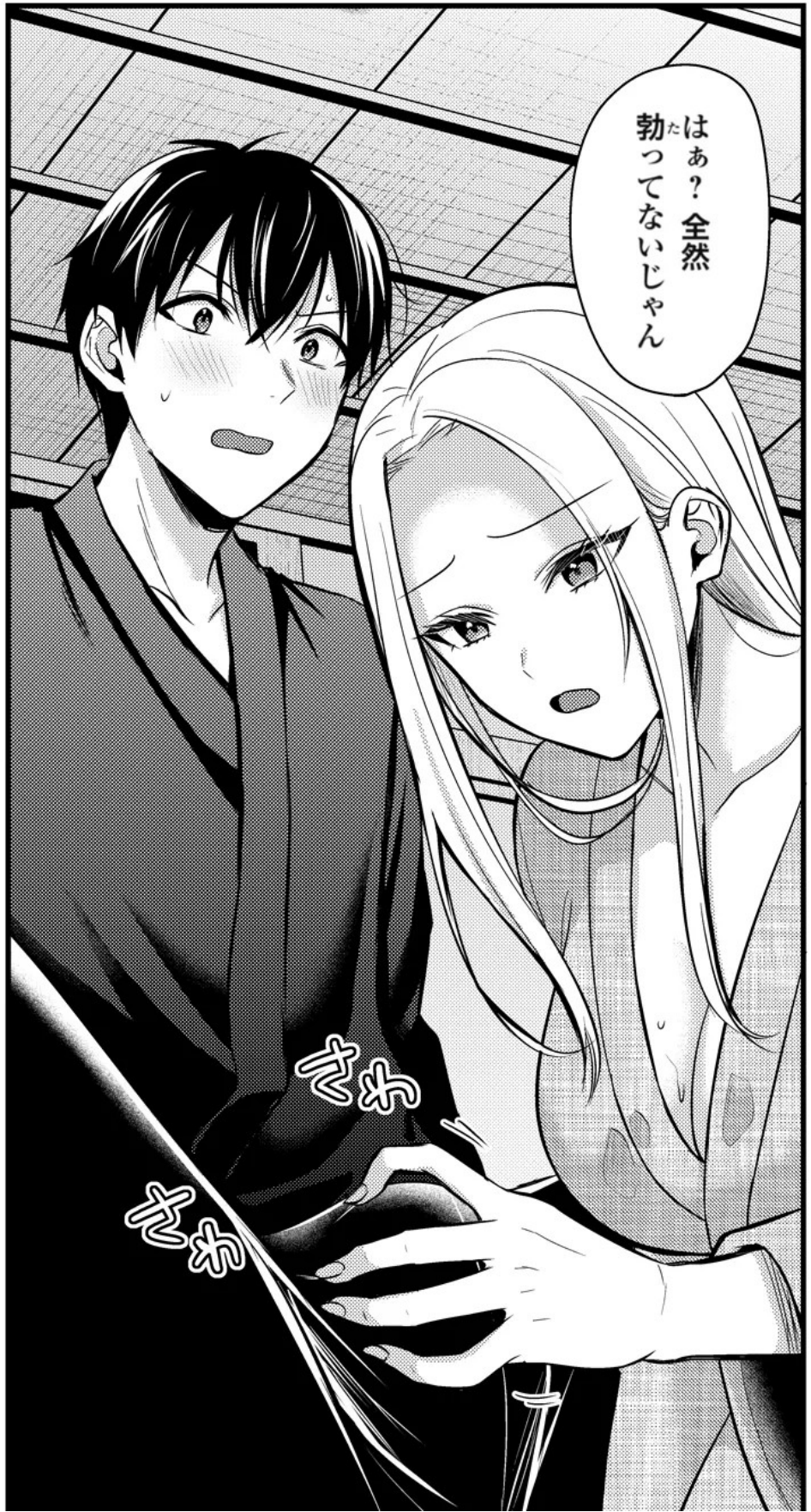
意味
わかんない

や…



やめろ…っ

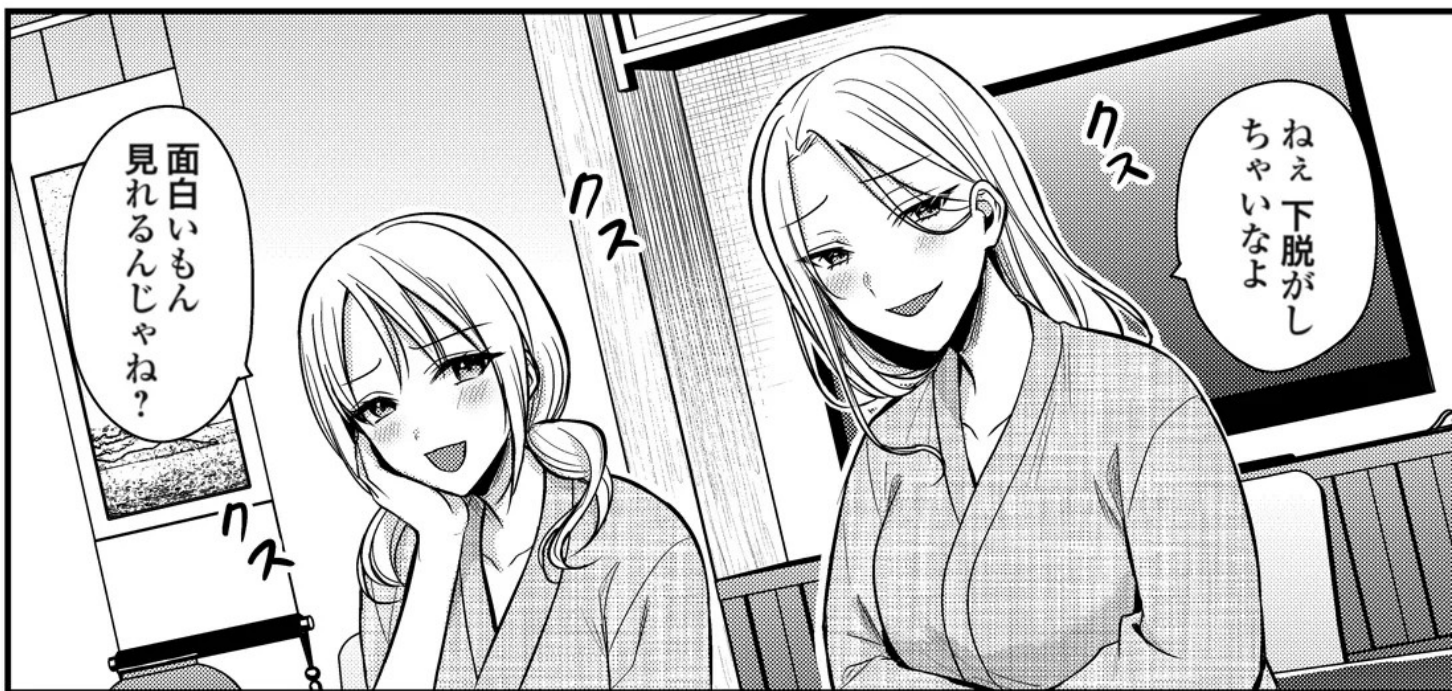
あはっ 何その
弱々しい声
ウケる

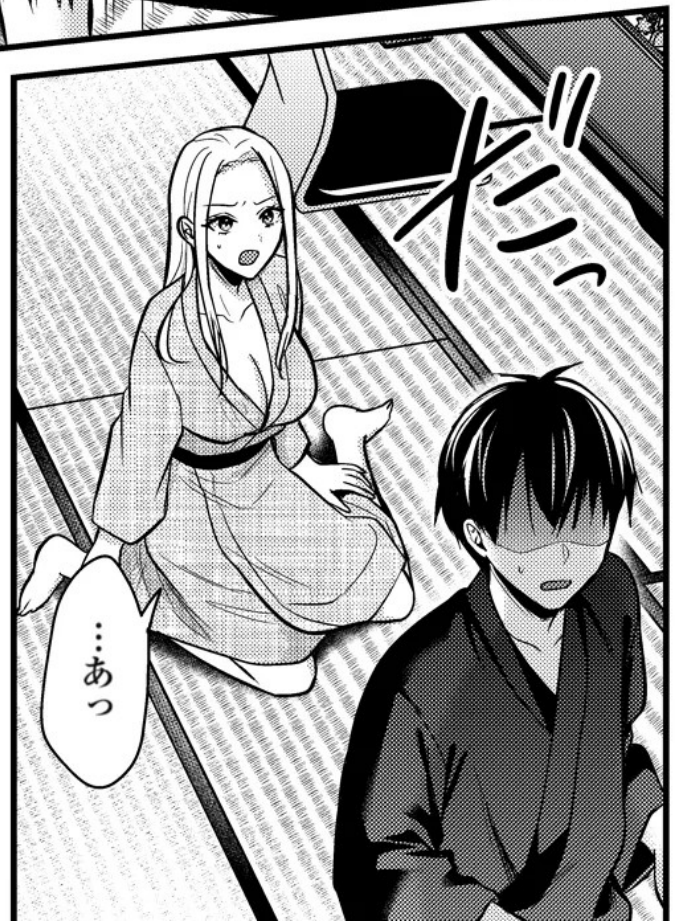
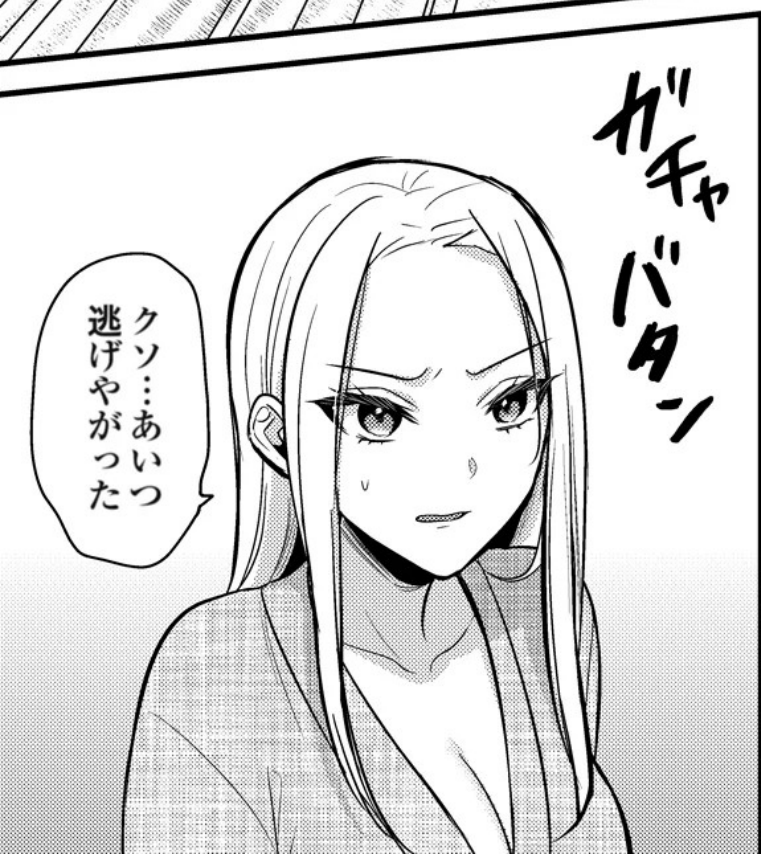


はあ？ 全然
勃^たつてないじゃん

さめ

さめ



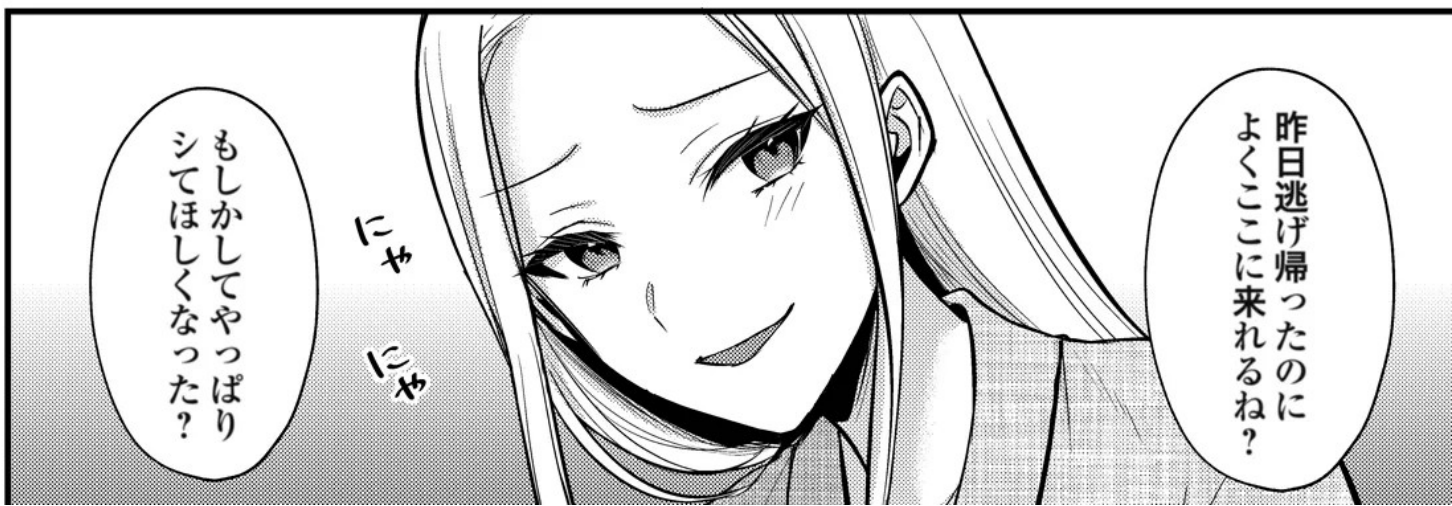
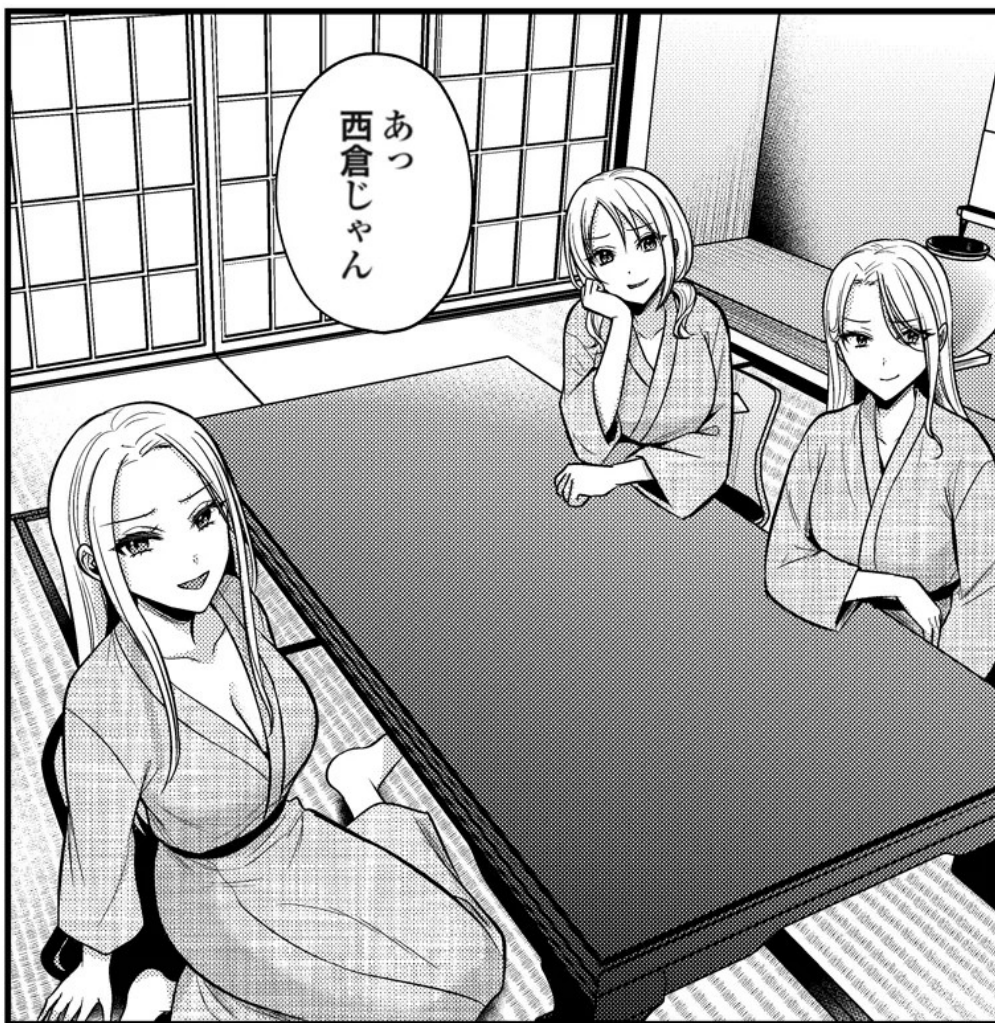














はあ？
何それ

昔可愛がって
やったのに
なんだよその態度

だから
仕事の邪魔を
しないでくれ

ムカ...



そんな訳
ないだろ

俺は自分の仕事を
まっとうしてる
だけだ

俺はお前たちの
ことを客としか
見ていない



にや...

...わかった



だったら
あんたのこと
クビにしてやるよ

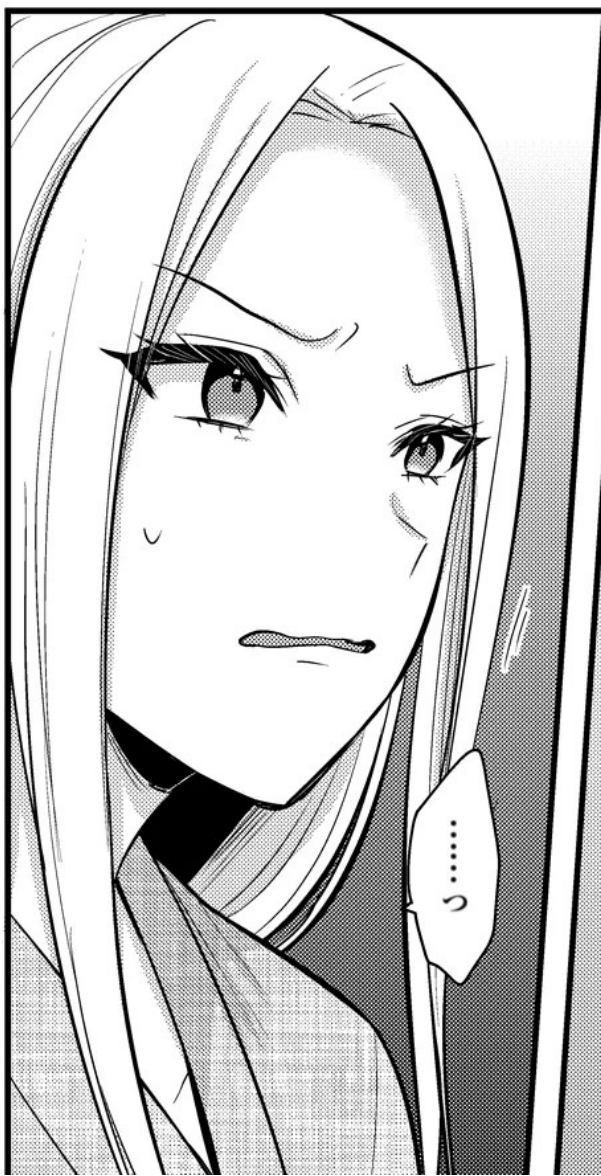
ほらこんな風に
食事にゴミが
入ってたって
クレーム入れてさ

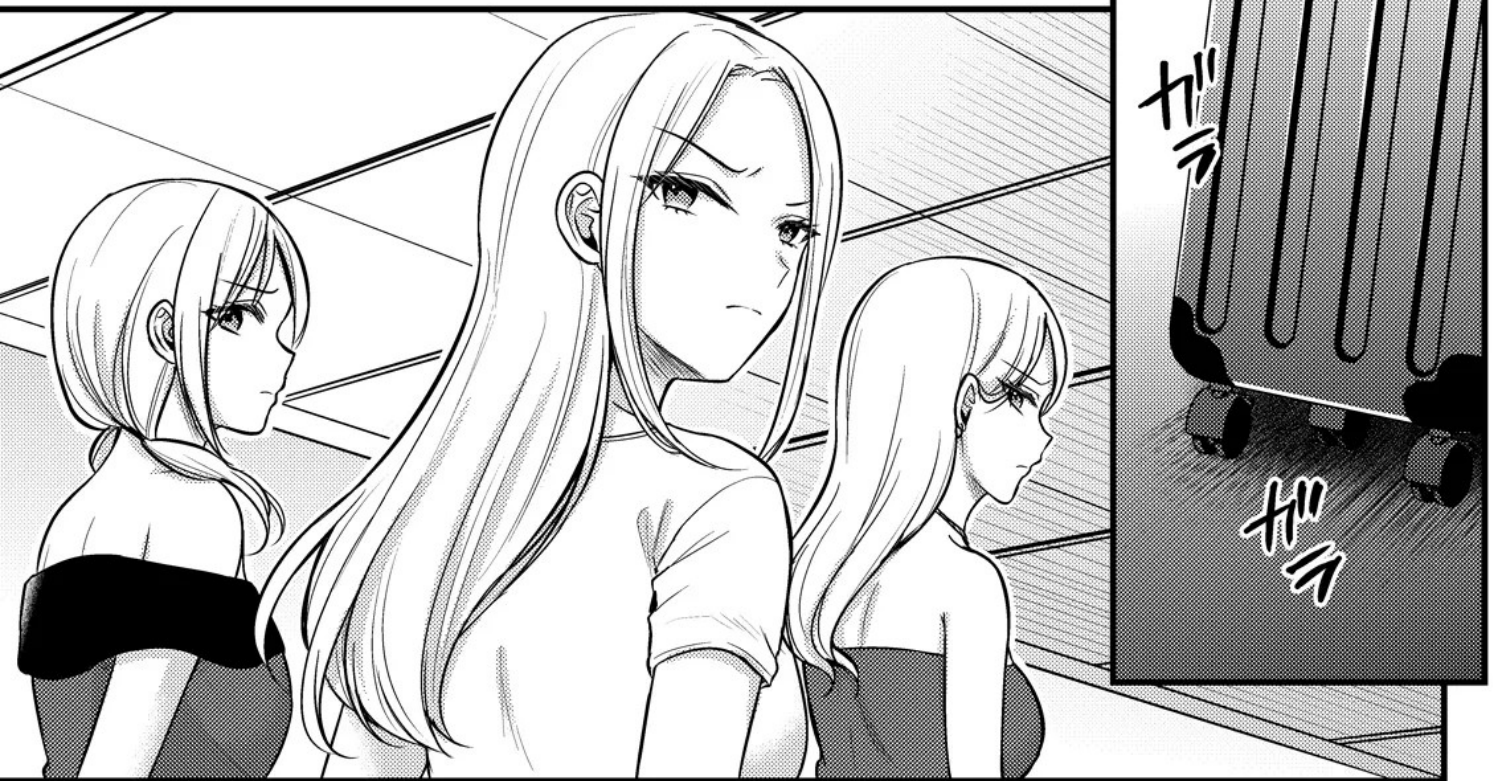
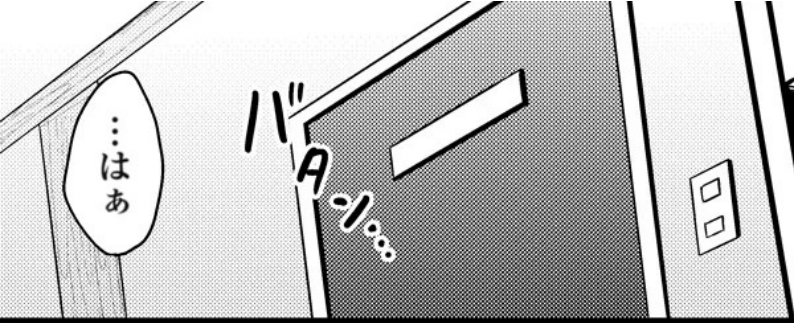


あんたどうせ
あの女将と
デキてるんでしょ？

だからあたしが
触らせてやっても
逃げ帰ったんだ

...っ！













女将さんのお陰で治ってきたとはいえ

前まではまた発作が起きるんじゃないかって少し不安があった…



でも今は何も怖くない

ん…

んう…



純粋な気持ちで女将さんと愛し合える

女将さん♡♡

あ…♡あ…♡

ぐくぐく











月日は過ぎ
俺の旅館での
バイト生活は
幕を閉じた…

そして…

お邪魔
しまーす

ここが
西倉くんの
お家か
都会っぽい♡

いっそ
結婚を前提に
同棲しちゃう？

そっそれは
ちゃんと学校
卒業してから…!

女将さんとの
都会での新たな
生活が幕を開けた

ぎゅ♡

あーあ
冬休みの間だけ
なんて
もったいない

ずっと一緒に
いたいな

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を
無断転載・複写・複製・配信
送信（ホームページ上への転載を含む）
アップロード・デジタル化することを禁止します。
また本作品の内容を無断で改変・改ざんを
行うことも禁止します。

for**cs**